



環境パイル工法

～ 間伐材を含む国産木材を用いた地盤補強工法 ～



環境パイル(S)工法協会

森林は、適切に管理されていない人工林が多くあるのも事実

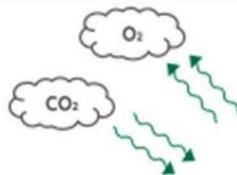
- 日本の全森林資源量は49億 m^3 (平成24年)。
人工林を中心に高齢級のもが増え、毎年8千万 m^3 が増加。
- 日本全国の年間の用材需要量は7千万 m^3 (平成23年)。
木材自給率は26.6%(平成23年)で国産材の割合が少ない。

このままでは...

- 資源が劣化し、CO₂の吸収能力や多面的機能が低下。
- 農山村地域の活力が低下。

林野庁HP参照

解決するためには、「木材を使う」
「山で働く人を育てる」
「森林づくりをみんなで支える」
こと等が必要。



間伐が行われないと...

- ・土壌が失われ、土砂崩れの原因になる
- ・CO₂吸収量が低下する
- ・病虫害が発生しやすい

このような現状を、、、

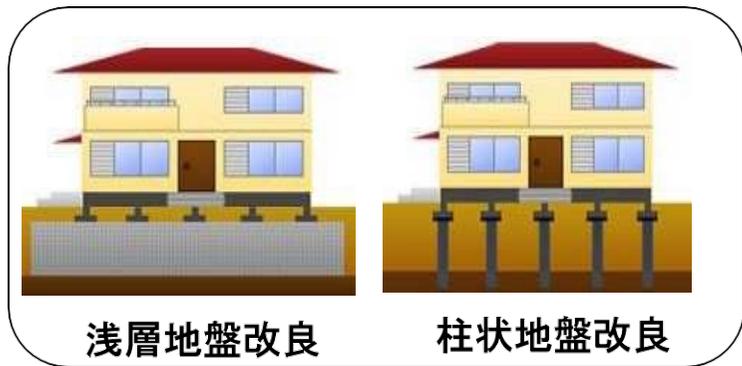


植林→間伐→伐採→使うというサイクルを繰り返すための森



セメント、鉄から木材へ

セメントの使用



鉄の使用



セメント、鉄を木材にに置換えた場合



「環境パイル工法」は、様々なエコ事業に参画
もしくは、認証されています。



GBRC 性能証明 第09-07号



技術評価証 第1019号



NETIS 番号：KT-200101-A
新技術名称：環境パイル工法
登録日：2020年10月2日



優良木材建材認証



国産材
JAPAN WOOD
企業名 国産材 100%



合法木材供給
事業者認定



国産材でつくる森のサイクル
木づかいニッポン
C-(3)-101039



グリーン
購入法適合

GPN適合商品



エコマーク認
証

環境パイル工法でSDGsに貢献



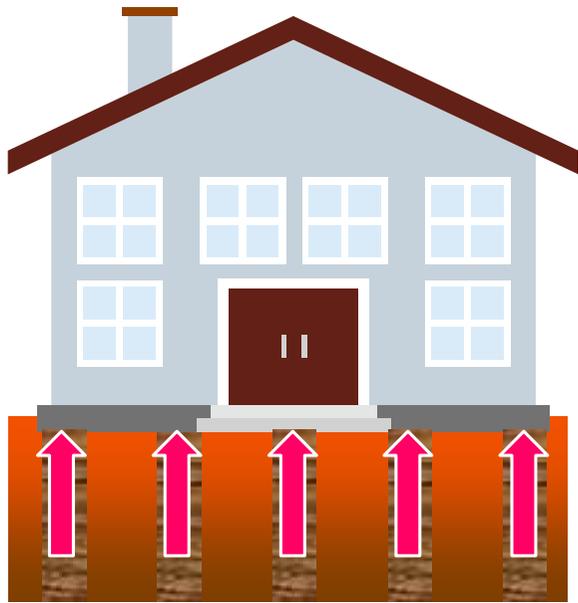
我々は、木材を利用した地盤補強「**環境パイル工法**」により年間10万トンのCO2削減、並びに大気、水質、土質などの環境上の影響を削減を目指すという事業として宣言しました。

我々も「SDGs」を知り、その観点から事業のあり方を見直してみることが大切と感じています。



環境パイル工法

木材で家を支える「環境にやさしい地盤改良工法」。高品質な防腐防蟻処理を実現することで、「腐食しない」「蟻害しない」高耐久性を実現した。古来からある伝統工法ですが、支持力機構を明らかにすることで、第三者認証を取得している。



環境パイル（木材）で家を支える。



環境パイル(S)工法は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

ウッドデザイン賞



設計・施工（適用範囲）

(1) 地盤補強材の諸元

材質：**すぎ**

外径： **$\Phi 120\text{mm}$ 又は $\Phi 140\text{mm}$**

定尺：**3m、4m、5m、6m**（4種類をご用意致しております。）

最大施工長さ：**12.0m**

(2) 防腐・防蟻薬剤

使用薬剤：**CUAZ（銅・アゾール化合物系木材保存剤）**

ACQ（銅・第四級アンモニウム化合物系木材保存剤）

注入方法：**加圧注入**

公的認証：**AQ認証**（財団法人日本保存木材、認証番号AQ-041-B3-7及びAQ-041-B3-7）

(3) 適用地盤

先端地盤：粘性土地盤、砂質土地盤、礫質地盤

周面地盤：粘性土地盤、砂質土地盤

基礎底盤下地盤：粘性土地盤、砂質土地盤→S工法のみ

(4) 地盤補強材の間隔→S工法のみ

2.5D以上（ただし、2.5D未満の場合は設計者と協議すること）

(5) 適用建築物（④と⑤はS工法に限り）

①地上3階以下

②建築物高さ13m以下

③延べ面積1500 m^2 以下※但し平屋は3000 m^2

④基礎構造 布基礎あるいはべた基礎

⑤長期接地圧50 kN/m 2

水平力は考慮できない

GBRC 性能証明 取得工法

